議題2：基金運用状況について（岩倉市提出）

市名		各市の状況		
		(1)20年以上の債券運用の実施について	※実施している場合、導入経緯等	(2)長期債運用における購入先の証券会社や銘柄の選定について
1	名古屋市	実施している	本市では市場公募30年債を発行しており、公債償還基金の残高が安定的に推移することから、平成26年度に名古屋市資金運用方針を改正し、債券の運用期間を「原則10年以内」から「原則30年以内」に変更した。	銘柄については、発行時期や発行額、スプレッドなどを勘案して決定している。 購入先については、本市の幹事候補証券会社かつ購入希望銘柄の引受証券会社を対象に譲渡可能額の調査を行い、提示額の大きい証券会社から順次購入を決定している。
2	豊橋市	実施していない		
3	岡崎市	実施していない		
4	一宮市	実施している	安全かつ有利な方法による公金の運用を図るため、平成14年度より「一宮市公金管理及び運用基準」及び「一宮市債券運用指針」を策定し運用していた。その中、期間については定めはなかったが、10年を超える債券の運用実績はありませんでした。平成28年1月にゼロ金利政策が実施されたため、運用債券の種類を増やすなど基準の一部改定を行った。基準の改定でも期間の定めはないが、利息確保のため20年の債券も含めて運用をした。	取引証券会社は、過去の取引実績等により選定した。また購入銘柄については地方債で、購入時期、債券幹事会社等を勘案して購入した。
5	瀬戸市	実施していない		（市内の支店の有無や、これまでの運用実績を考慮して、順次、証券会社を選定しており、銘柄についても愛知県など県債の購入を考えている。）
6	半田市	実施していない		
7	春日井市	実施していない		
8	豊川市	実施していない		
9	津島市	実施していない		

議題2：基金運用状況について（岩倉市提出）

市名		各市の状況		
		(1)20年以上の債券運用の実施について	※実施している場合、導入経緯等	(2)長期債運用における購入先の証券会社や銘柄の選定について
10	碧南市	実施していない		
11	刈谷市	実施している	金利の低下に伴い、以前のように利息収入を確保できなくなってきたため、これまで10年以内としていた債券による運用期間を20年以内とする運用基準の改正を平成27年9月に行い、より多くの利息収入を確保できるよう努めています。	証券会社からの提案を受けて銘柄等を選定していますが、議題にあるとおり入札的な手法をとれないため、一つの証券会社に偏ることがないようにしています。
12	豊田市	実施していない		
13	安城市	実施している	①いつから 平成26年度より開始。 ②どのように 平成25年度までは、「債券運用基準」により、債券の年限は10年とされていたが、平成26度より基準を見直し、「資金管理方針」を定め、そこで債券の年限を20年以内とした。	その年の債券購入限度額（資金管理計画に謳い、公金管理委員会から了承を得る）から購入計画を考え、また、日々の金利とも考慮した上、その購入時期と証券会社の購入提案のタイミングが合えば購入する。つまり、頻繁に連絡がある証券会社から多く買う傾向にあるが、できるだけバランスよく購入できるよう考慮もしている。 銘柄選定は、利回り、格付、発行額などを参考に、その証券会社が入手しやすいものを選んでいる。
14	西尾市	実施していない		
15	蒲郡市	実施していない		
16	犬山市	実施していない		
17	常滑市	実施していない	債券運用そのものを実施していない。	
18	江南市	実施している	運用期間は20年を上限としている。 現在は、財政運営の円滑化を図るため、資金の流動性の確保を考慮し、短期（2年以内を目途）運用を基本としている。	随時契約で決定している。

議題2：基金運用状況について（岩倉市提出）

市名		各市の状況		
		(1)20年以上の債券運用の実施について	※実施している場合、導入経緯等	(2)長期債運用における購入先の証券会社や銘柄の選定について
19	小牧市	実施していない		
20	稲沢市	実施していない		
21	新城市	実施していない		
22	東海市	実施していない		長期債の運用は実施していません。
23	大府市	実施していない		購入先証券会社は、新発債の場合価格や利率が同じであるため、大手証券会社のうちから購入し、銘柄は発行条件を確認し、取扱いができる債券を申し込んでいます。
24	知多市	実施していない		
25	知立市	実施していない		
26	尾張旭市	実施していない		10年債の運用を実施している。今年度新たに購入した債券については、1社に偏ることがないよう、既に購入している証券会社とは別の証券会社を選定した。その際、発行条件等についての本市への情報提供量、国内での債券引受額の多さなどを選定基準とした。銘柄については、満期保有を前提としているため、直近の格付けを参考に元本の償還及び利息の支払いが確実な銘柄を選定した。
27	高浜市	実施していない		

議題2：基金運用状況について（岩倉市提出）

市名		各市の状況		
		(1)20年以上の債券運用の実施について	※実施している場合、導入経緯等	(2)長期債運用における購入先の証券会社や銘柄の選定について
28	岩倉市	実施している	平成14年より債券運用指針を定めており、その中で「債券は、償還期限まで保有することを基本とし、償還期限は5年以内の債券とする。」としていましたが、平成29年度に償還期限を5年から20年に改正しました。	副市長を委員長とする公金管理委員会で、複数の証券会社から、1億円ずつ銘柄、購入日を変えて地方債を購入することを決定し、4～6月に、最も高利率が見込まれる銘柄の提案があった証券会社を選定し、順次購入した。
29	豊明市	実施していない		
30	日進市	実施していない		
31	田原市	実施していない		長期債運用は、実施していない。
32	愛西市	実施している	本市では、公金管理運用要綱の中で債権運用について規定をしています。平成27年8月から施行していますが、制定当時は、中期は5年、長期は10年、超長期は20年と定めていましたが、平成27年7月頃に急激な金利の低下状況がありましたので、20年では高金利が得られなくなりました。その状況に対応するため30年あるいは40年の債権も取得可能とするため、平成28年3月に開催された公金管理委員会に諮ったところ承認されましたので、同年4月から年限を削除し、「中期、長期及び超長期賞品での運用及び債権入れ替えを行うことができる」と改正しました。	購入先の証券会社の選定方法は、早く連絡（電話若しくはファックス）を受けたところを優先している。また、新発債であっても、とりわけ国債においては取扱量の多い証券会社もあるため、発行と同時に購入しなくても、時価を見ながら購入する方法も取り入れている。
33	清須市	実施していない		現在、国債、地方債の購入はしておりません。
34	北名古屋市	実施していない		
35	弥富市	実施していない		

議題2：基金運用状況について（岩倉市提出）

市名		各市の状況		
		(1)20年以上の債券運用の実施について	※実施している場合、導入経緯等	(2)長期債運用における購入先の証券会社や銘柄の選定について
36	みよし市	実施している	平成28年6月から準備を始め、平成28年10月に債券の運用基準を定め平成28年11月から債券運用しています。	・経営状況が良好な企業であり、積極的に情報提供するなど貢献度の高い企業を選定しています。 ・今回は政府保証債、地方債の中から購入できるものということで依頼しました。
37	あま市	実施していない		「県内に支店を有する証券会社の中から選定する」と定めていますが、具体的な選定方法は定めていません。現在は、営業のあった野村證券1者から、いずれも10年債となりますが、愛知県公募公債と共同発行市場公募地方債を購入しております。
38	長久手市	実施している	平成29年度から年数の上限を削除しましたが、今のところ20年以上の債権運用の実績はありません。	過去の購入実績を参考に選定しているのが現状です。